

高橋聡 (Satoshi TAKAHASHI)

専門分野

経営情報

情報技術とシミュレーションを活用し、複雑化する経済・経営現象を定量的に分析・可視化する研究に取り組んでいます。

特に、エージェントベース・モデリング（ABM）を用いた経済行動の解析や、意思決定支援、経営教育の効果測定を専門としています。

近年は、AI技術（機械学習・対話エージェント）を応用し、サービス、経済や教育現場における意思決定プロセスの高度化、さらびに日常行動に根差した消費文化の経済的意味づけにも挑戦しています。

研究プロジェクト例

ABMによる経済行動のシミュレーション

異質な主体（エージェント）の相互作用から創発する経済現象を再現し、価格形成、市場構造、学習行動といった動態を分析します。

経営戦略と意思決定支援における情報技術の応用

データ駆動型経営を実現するための、システム設計・意思決定支援ツールの開発とその実証を行います。

経営教育における評価手法の開発

ケースメソッドやプロジェクト型学習（PBL）を対象に、AI（例：ChatGPT）を活用した記述式解答の自動採点システムを開発し、教育効果の客観的測定と最適化を目指します。

ファッションデータを用いたトレンド構造の解明

1970～2017年の東京ストリートファッションの画像アーカイブ「CAT STREET」を構築し、消費者の選好とマスメディアとの相互作用がどのように経済的トレンドを形成するかを機械学習により検証。これは、文化的消費の経済モデル構築に資する実証研究です。